



竹田 英司

年内最後のVリーグ戦（5、6日）では、試合直前の控室で金子聖輝選手がラグビーのニュージールランド代表が演じる儀式「ハカ」を披露し、チームを鼓舞した。

エドガー選手が復帰した初戦（5日）はフルセットの末、惜しくも敗れた。前日の負けを引きずったのか、6日はあっけなくストレート負け。試合終了後、普段はチームの雰囲気盛り上げる久原大輝選手が落ち込んでみると、深津旭弘選手が「ヒサ！ 胸を張れ！ 下を向くな！」と声を掛けた。

エドガー選手が涙目でうつむく井上航選手の肩を抱きながら話し掛けた。「航が落ち込むとチームみんなの元気がなくなる。航ひとりの問題じゃないんだぜ、元気出せよってトムは言ってるんやで」とロジャーズ海選手が通訳した。

● 下向く必要はない

控室に戻ると先発した西知恕選手が思いつめた表情で「今日は僕のせいで、僕のふがないプレイで負けました。申し訳ないです」と謝ってきました。私は「今日は西の日じゃなかった、それだけだ。ちなみに英語ではIt's not my day. また西の日が来るよ」と励ました。重荷を背負い苦しむ選手を見ると、スタッフの一人として責任を感じる。選手は悪くない。責めを負うべきは私たちスタッフなので、どうか選手を温かく見守ってやっていただきたい。きっとまたJTサンダーズ広島の日が来る。

（JT広島マネジャー）



悔しさをかみしめながらファンサービスの写真撮影に臨む金子⑤、西の両選手